

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2024

6

No.234



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あります 飯南町

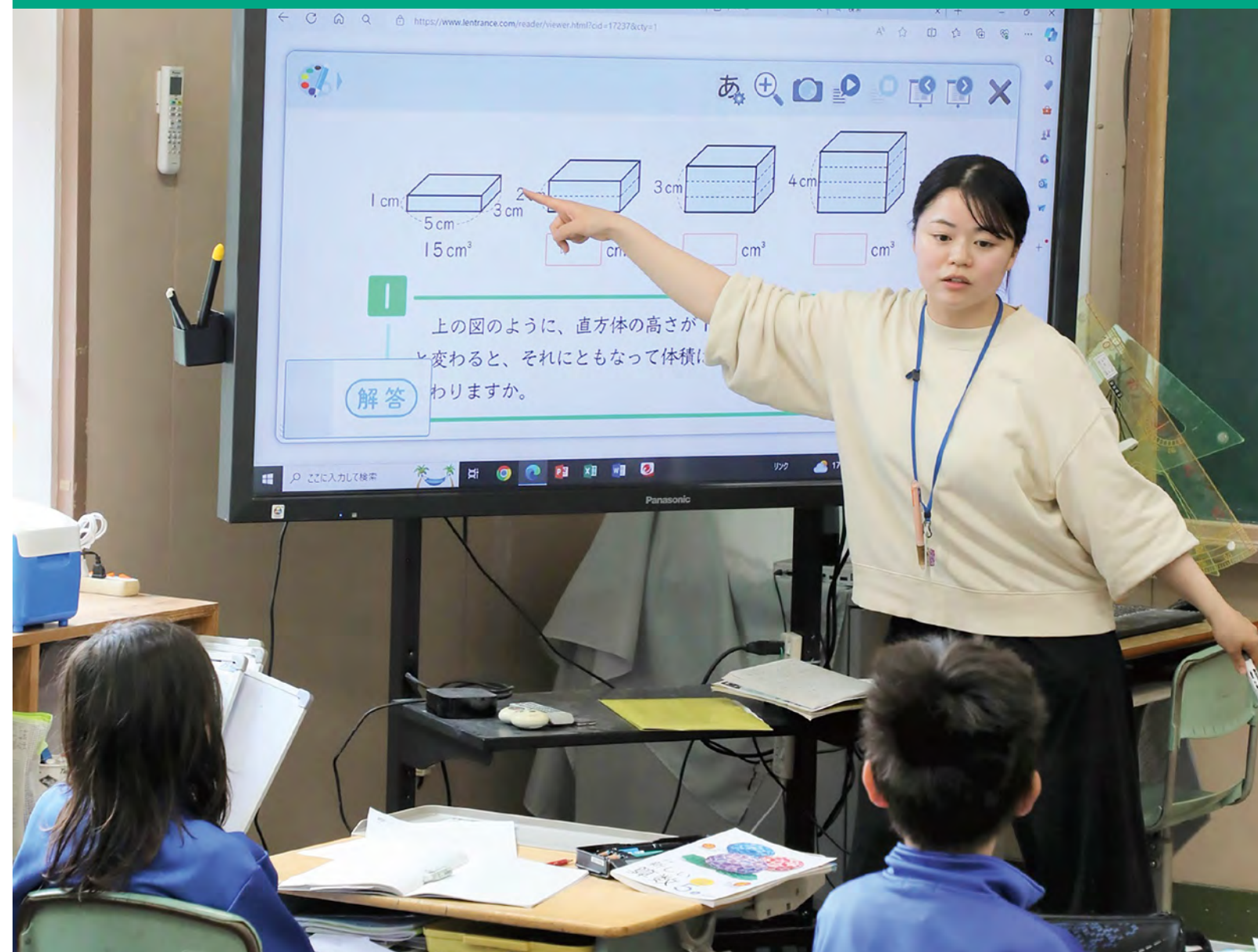
特集 全国からの応援を、力に



おやこ運動教室

全国からの応援を、力に

町の財源として大きな割合を占めるふるさと納税。その役割を、改めて考えてみたいと思います。



志々小学校5・6年生の複式学級の授業をする川上真理恵先生

**全国からの寄附金が、
町内のどこで使われているか知っていますか？**

教育環境の充実のために

モニターに映し出されるのは、指導者用に小学校、中学校に導入された「デジタル教科書」。国語、算数、外国語、理科、社会、音楽、家庭科。これらの授業でデジタル教科書が使われています。

デジタル教科書とは、紙の教科書の内容をそのままデジタル上に記録した教材です。教科書の内容以外に、授業に役立つ機能がセットになっています。

たとえば、外国語の授業では、発音やイントネーションを学ぶために、動画の再生速度を変えたり、字幕を付けたりすることが出来ます。また、映像を通して表情や身体表現を学び、リズムに乗って発音することが出来ます。

このように、児童が楽しく授業に参加できるのも、デジタル教科書導入の利点の一つです。

デジタル教科書にこれらの機能が搭載されていることで、事前に授業の準備をする負担が軽減されました。

志々小学校の川上先生は、1年前に転勤してから、デジタル教科書を使用する頻度が高くなりました。「複式学級では、2学年が共に学んでいるので、教科によっては『わたり』という学習形態をとることがあります。そのため、単式学級にはない教材準備や配慮が必要となります。デジタル教科書を使う利点は多いです」。

授業の準備や黒板へ板書する時間が減り、児童に向き合う時間が増えたと言います。

**主体的・対話的で
深い学びの授業を目指して**

町の総合振興計画は「教育・文化・子育て」の分野で、「学習環境の充実による確かな学力の育成」「ICT教育の実施」を掲げています。

今回、志々小学校で使われていた「デジタル教科書」は、先生だけでなく児童も使用します。映像やアニメーション機能を使って視覚化し、『動き』があることで、一人一人が主



先生が5年生の授業中、6年生が答え合わせをしています

※わたり

複式学級で同時に両学年に指導を行おうとすると、どうしても学年別に交互に指導することになります。この方法を「わたり」といっています。

出典 島根県教育委員会「複式学級指導の手引き」

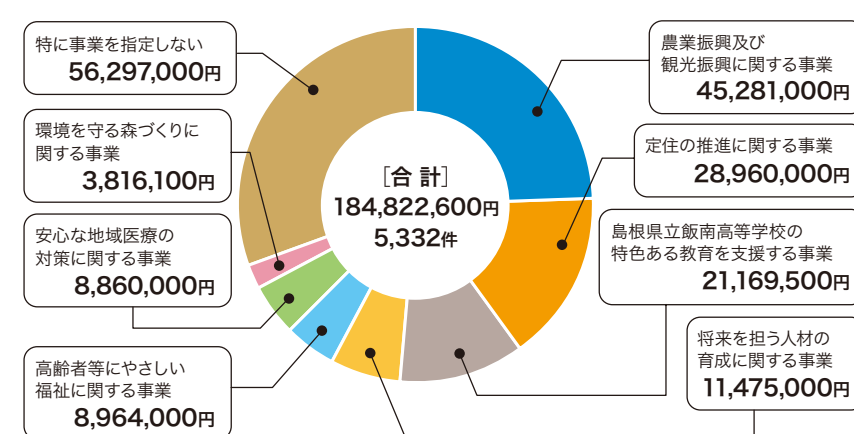
体的に学ぶことができます。大野教頭は、「デジタル教科書の機能を効果的に活用して学力向上に努めます」と話します。充実した学習支援機能を持つことで、先生の指導の仕方や児童の学びに変化が起きています。

町内への取組に還元

寄附金の活用例として「デジタル

教科書」を取り上げました。全国から寄せられた寄附金は、教育環境への支援だけではなく、大しめ縄をまちのブランドとして推進する事業や、森林セラピーを推進する事業、いーにゃんPAYといった商業活性化事業などに活用されています。

令和5年度 寄附金実績



ふるさと納税の実績を報告します
ふるさと納税とは、生まれたふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度です。令和5年度、全国から飯南町へのふるさと納税の寄附額は総額1億8,482万円余りとなりました。その寄附金は、町のさまざまな取組に活用されています。



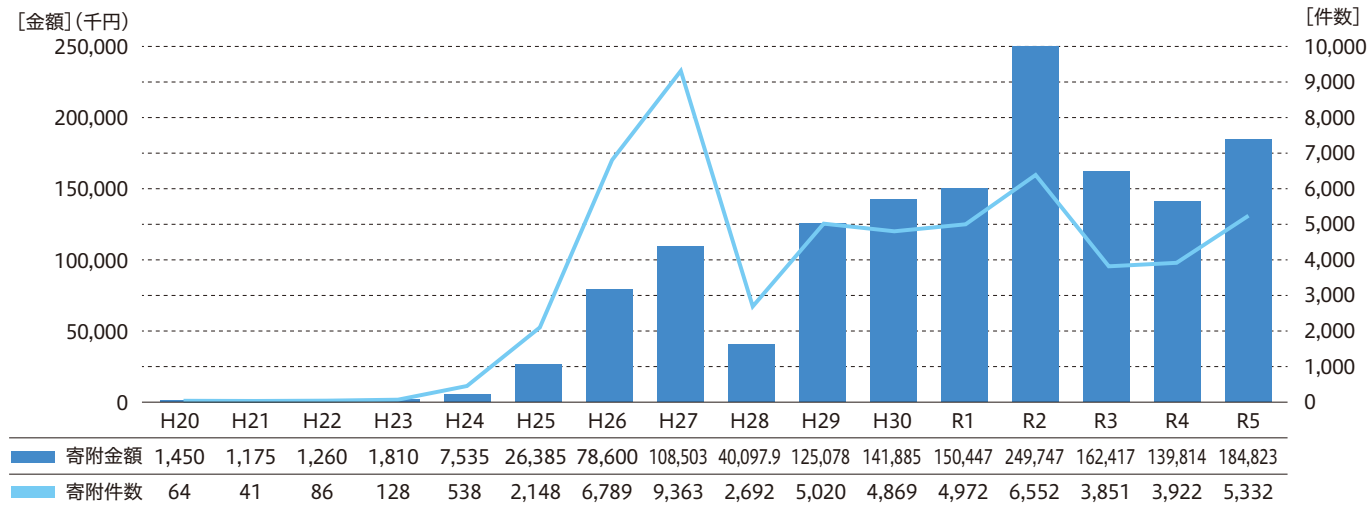
「別の米を食べていたけれど、カモちゃん米がおいしかったのでまた買いたい」と言う方がいて。その人が最初のリピーターだね

宇山 ちあき 智明さん(上区)



「道路沿いの田んぼで、アイガモがお盆前まで活躍中。見に来てくださいね」と宇山さん

■飯南町ふるさと納税 寄付額推移



令和2年度は、コロナ禍でふるさと納税に注目が集まったこともあり例年の年となりましたが、制度開始当初に比べ、全体を通して右肩上がりとなっていることが分かります。

飯南町 ふるさと納税の返礼品に出品しませんか？



返礼品出品のメリット

- ①ふるさと納税ポータルサイトを通じて、自社商品やサービスを全国に販売・PRすることができます。
- ②ポータルサイトへの掲載手数料、出品手数料は、町が負担します。

※出品にあたって、募集要件の確認が必要となります。
※募集は随時行っています。

ご対応しますので
お気軽にご相談ください！

新規事業者登録、
新規返礼品出品の
ご相談、問合せ

(一社)飯南町観光協会
☎ 76-9050

飯南町ふるさと納税ページ



「全国からの応援」は、返礼品出品事業者への励ましにもつながります。

地道な努力が実をつける

化学肥料・農薬不使用の米とサツマイモを育てる「うやま農園」の宇山さん。手をパンパンと叩くと田んぼに放たれたアイガモが寄ってきて、エサをねだります。

うやま農園は、アイガモ農法で育てた「カモちゃん米」と、「紅はるか（生いもと焼きいも）」をふるさと納税の返礼品に出品しています。

米作りをするうち、自身の手が荒れたことで、化学肥料や農薬を使わない米を育てるために、アイガモ農法に切り替えることを決めた宇山さん。アイガモに雑草や虫の除去を手伝ってもらいながら、人や環境にも配慮した農法です。

作る人にも食べる人にも安心な米ができる一方で、アイガモが鳥獣に狙われる危険があったり、アイガモが食べない雑草は手で抜いたり、苦勞も多いそう。

それでも、化学肥料や農薬を使わずに農業を続けています。

「また頼んでくれたよねえ」

宇山さんがふるさと納税の返礼品

に出品を始めて10年。続けていくうちにリピーターも増えてきました。「始めた当初は、5月の連休までに在庫の米がなくなつて驚いたね」と宇山さん。

「今年はふるさと納税で、サツマイモの寄附申込がいつもと比べて多いんだよ」と話します。熱心なリピーターがいるようで、2週間に1度くらいのペースで申込があることも。

一度食べてもらおうとおいしさが伝わって、また申込してくれるという好循環が生まれています。

町外から届くエールに

うやま農園は、季節に合わせてカモちゃん入田式やサツマイモ掘りといったイベントを続けたり、産直に商品を置いたりするなど、町外や県外にもファンがいます。ただ、オンラインショップを運営しているわけではないため、米もサツマイモも、飯南町に来なければ買えないものでした。

ふるさと納税の返礼品への出品は、全国からの応援を受け取る方法の一つとなっているのです。

**楽しく人権を学ぼう
人権学習+α**

谷笑楽校で谷公民館が主催する「人権学習+α」が開催されました。

紙芝居作家のよしとさん(松江市)が、「人権」をテーマに紙芝居を披露。参加者は歌ったり、踊ったりしながら楽しく「人権」を学びました。人権学習後には飯南町社会福祉協議会との共催で、「盲導犬ふれあい教室」も開催。「目が見えないこと」などを学んだり、盲導犬に触れ合ったりしました。

会場には、人権がテーマの本の貸出や昔の遊び体験コーナーなどもあり、多くの参加者が楽しみました。



家族や友達と一緒に楽しく学ぶ時間になりました

**日本一を目指して
ウナギ釣り大会**

町内の有志で結成された「来島ダムを愛する会」が主催で「ウナギ釣り大会」が開催されました。

会場の来島ダムに集まった参加者は、昨年、日本最大級のニホンウナギを釣り上げた藤川佳成さん(野萱)の指導を受け、釣りを開始。開始して約2時間、20時を過ぎてから夜行性のウナギが活動し始め、多くの参加者がウナギを釣り上げました。

参加者からは「釣れないかと心配していましたが、釣り上げることができ、楽しむことができた」との声が聞かれました。



約80センチメートルと大きなサイズのウナギも釣れました



飯南神楽団の神楽の演出に子どもたちも興奮

**雨上がりの空のもと盛大に
第31回ポピー祭**

「第31回ポピー祭」が、東三瓶フラワーバレーイベント広場で開催されました。

メインステージでは、恒例となっている神楽公演のほか、キッズダンスや演歌歌謡が行われました。そのほか、地元出店者などの飲食店が並び、やまめのつかみ取りやモデル写真撮影会など、来場者が楽しめるブースが盛りだくさん。グリーンスローモビリティ乗車体験も初めて企画され、多くの子どもたちが乗車しました。

会場に訪れた5500人の来場者がそれぞれのスタイルで楽しみました。



イベント会場周辺に咲いた色鮮やかなポピー



地元の美味しい食事楽しみの一つ

**家庭でもできる手入れを学ぶ
刃物研ぎ講座**

交流センターとんぼらで、頓原公民館が主催する「サンドペーパーで刃物研ぎ講座」が開催されました。

この講座は、研石がなかったり、研石があっても研ぐことが難しかったりする刃物の手入れを、普段からできるようにすることが目的です。

当日は、10人を超える参加者が、それぞれ家庭で使っている包丁や鎌などを所持。頓原公民館の石川館長の指導のもと、耐水性のサンドペーパーを使った手入れの方法を学びました。



作業は集中して安全に気をつけながら

**お互いに協力して
外国人と地域住民が交流**

さつき会館やその周辺を会場に「飯南町内で働く外国人と地域住民の交流会」が開催されました。

このイベントは、飯南高3年生の3人が生命地域学の授業で企画し、志々公民館と共催。当日は町内の事業所で働く外国人8人と地域住民約20人が参加し、グラウンドゴルフやゲームで盛り上がった後、食事をとりながら交流を深めました。

企画した高校生は「今後も外国人の皆さんと交流できる機会を作り、外国人への理解を深めていきたい」と話していました。



グラウンドゴルフやゲームでは会場に笑い声が響いていました

**いっしょにやん人つなぎ基金
事業認定書贈呈式**

「いっしょにやん人つなぎ基金事業認定書贈呈式」が開催され、飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会の作野広和会長から2団体に認定書が贈呈されました。

今年度、贈呈を受けたのは、子ども自身が遊びの内容を自由に構築していく「あそび場「プレーパーク」」を運営する「飯南プレーパーク+α」、飯山街道の地域資源としての価値を啓発し、まちづくりに生かすことを目的に活動する「飯南町飯山街道を訪ねる会」。

こちらの団体も、地域資源を活用した取組が評価されました。

この事業認定は、国道54号の沿線を盛り上げる活動を支援するために実施。今回の認定を含め、これまで18の団体が認定されています。

基金贈呈式に併せて、作野会長から「頓原維持安全協議会」に感謝状が贈呈されました。

同協議会は、国土交通省松江国道事務所が発注する、国道54号の工事を請負う施工業者で組織された団体。道の駅頓原のイルミネーションイベントややまなみ街道クラ임ライドへの協力など、地域の活性化に取り組まれています。



贈呈を受けた皆さん(前列)や関係者で記念撮影



頓原維持安全協議会の景山会長(写真左)に感謝状

地域おこし協力隊の 業務を紹介

昨年6月に着任した地域おこし協力隊の正戸あゆみさんの業務が変更になりました。

正戸隊員はこれまでの1年間、「事業承継型ジビエ加工」を担当していましたが、6月1日からは、「食のコーディネート」として、地域の食関係の事業支援や食文化の保存など、より幅広い活動を担当していただきます。

食に関する意見や提案、情報を集め、資源活用や課題解決を推進していきます。



次期総合振興計画 策定委員会を開催

総合振興計画は、町の目指すべき姿とその実現のための取組を定める、町における最上位計画です。

現行計画の期間は今年度末で終了。次期計画を策定するため、昨年度9月に策定委員会を立ち上げ、協議を重ねています。

5月17日には、第5回目の委員会を開催。これまでの施策の評価を行いました。評価委員会での意見は次期計画や今後の事業の組み立てに反映していきます。

今後さらに協議を進め、次期計画を年度内に策定します。



さまざまな意見をいただきました

英語での おはなし会を開催

飯南町立図書館は、毎月第3日曜日に、「Sunday Story Time」を開催しています。

今回は、本や英語に触れることを目的に、「英語でおはなし会」を行いました。英語で絵本を読む担当は、ALTのジョーダンさんとランデンさんです。この日も数冊の絵本を読んだり、参加した親子と英語で交流しました。

この企画は、11月にも開催予定。これらの企画を通して子どもたちが、本に親しむ機会を創っていきます。



ジョーダンさんはこの日が最後の担当。会の終了後に花束を贈りました

朽木博文さんに 感謝状

本町の行政相談委員である朽木さん（畑田）が島根行政相談委員協議会会長感謝状を受賞されました。朽木さんは、平成31年4月に総務大臣から行政相談委員を委嘱されて以来、町民の身近な相談相手として、定例相談所などで暮らしの困りごとの相談を受け付け、その解決に尽力。その功績が認められました。

本町は毎月、行政相談所を開設。行政機関に関する相談や意見を受け付け、解決を図っています。



松江市での表彰式に出席されました（写真右）

職員防災研修を 開催

5月28日火

本町の気象防災アドバイザー堀江安男氏を講師に、地震や大雨・豪雨災害対策等、防災に関する職員研修を行いました。

併せて、能登半島地震の被災地に派遣した職員の活動報告会も行いました。1週間派遣された福祉事務所の三宅一樹主任主事は、罹災証明発行のための建物被害認定調査に従事。被災地での業務の難しさや防災に対する意識の変化を報告しました。

今後も研修を行い、職員の防災意識の向上を図るだけでなく、町民の皆さんへの出前講座も実施していきます。



オンラインも含め、30人の職員が参加

児童生徒がミシガン州立大からの 留学生と交流

5月30日木
31日金

本町が取り組む「みらい人材育成事業」の一環で、町内の児童生徒が、島根大学に留学しているミシガン州立大学の学生16人と交流しました。

この事業は島根大学の協力のもと、児童生徒のコミュニケーション能力の向上と、異文化への興味・関心を高めることが目的。留学生は志々小、頓原中、飯南高を訪問。留学生と児童生徒は、英語と日本語を交えてお互いに自己紹介やゲームをしながら交流し、盛り上がりました。

今後も本事業を推進し、本町から世界を舞台に活躍できる人材を育成していきます。



頓原中ではみんなで一緒に給食



歓声と笑い声が響くじゃんけん大会



初めてのしめ縄作りに悪戦苦闘

澤田秀樹さんに 知事感謝状

6月12日水

多年に渡る消防団活動、消防団長としての功績により、前消防団長の澤田さん（上来島）に知事感謝状が授与されました。

澤田さんは昭和49年に消防団入団。平成28年1月から令和5年12月の8年間は消防団長として、町民の安全確保、団員の資質向上等に尽力されました。

澤田さんは「飯南町消防団をはじめ、関係者の皆さまに感謝申し上げます。今後も地域から必要とされ続ける消防団であってほしいと思います」と話されました。



松江市での贈呈式に出席されました（写真中央）

healthycolumn 健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院 便り



副院長 三上隆浩

「飯南町に医療があるということ」 ～歴史的背景から～

1920年代以前の医療における「保険」は、民間と官業の共済組合により提供され、加入は任意で、給付金額や掛金率も加入者で異なるものでした。1956年の時点では、日本の人口の約3分の1が医療保険に未加入の状態であったようです。1958年の国民健康保険法改正で、全ての市町村における地域保険制度の設立が義務化され、1961年に「国民皆保険」が達成されました。

1972年からの高齢者医療費無料化は、財源の持続可能性に対する懸念が広がり、1982年に老人保健法が制定され、高齢者医療自己負担ゼロの時代を終えました。

その後の高齢化の進展で、1997年に介護保険法が成立。2006年に75歳以上の後期高齢者を対象の医

療保険制度が設立され、2015年には、都道府県が、国民健康保険の財政運営と医療提供体制で大きな権限と責任を持つようになり、現在の形になっています。

さて、1961年に制度的には「国民皆保険」が達成されますが、「保険あって医療なし」の状況解消に向けて、当時国民健康保険を運営していた市町村が、地域住民に医療を提供するために、全国津々浦々（特に中山間地域、離島、島嶼部）で、国民健康保険直営診療施設（国保直診）を設置しました。これが、現在の飯南病院、来島診療所、各出張診療所につながっています。

国保直診は、昭和30年代には全国で、診療所は約2,700施設、病院は約500施設ありましたが、市町村合併や人口減少と経営上の問題から、診療所は約500施設、病院は270施設まで減少しています。

これから全国的に進む少子高齢化と人口減少の社会状況において、飯南町での医療のあり方を生活と健康づくりの視点から、町や飯南病院はもちろん、町全体で一緒に考えていく必要があります。

保健福祉センター 便り

もしかしたら・・・野菜摂取が不足しているのは、働き盛りの年代かもしれません

地域との共創で「野菜摂取不足ゼロ」を目指すカゴメ（株）の取組に賛同し、野菜の摂取量を測定するベジチェックをお借りし、町職員が「ベジチェック」を体験してみました。

「思ったような数値が出なかったな」、「毎日野菜は気をつけて食べているから、十分な数値が出て安心した」など、人それぞれの意見がありました。



塚原町長も手をセンサーに乗せて、野菜摂取量を計測

飯南町役場の平均値「4.71」

目標の「7」にはほど遠い結果でした。最高値が「8.8!」上限は「12」まであります。ベジチェックの値は1日とか1食野菜をたくさんとっても上がりません。習慣化することが必要です。

これから数値をレベルアップするために、食習慣を変えていこう!という決意を葉っぱに書いてもらい、全体で「やる気の木」ができあがりました。

町職員も数値改善に向けて努力していきます。町民の皆さんも自身の食生活を見直し、野菜を食べることを意識して習慣化できるようにしていきましょう。



町職員の決意を書いた「やる気の木」



脱炭素チャレンジ インフォメーション

vol.1

本町は、令和5年3月に脱炭素のまち宣言を行いました。町民の皆さんにも取り組んでいただけるよう、定期的に情報をお届けします。

「薪ストーブ」を活用しませんか？

薪ストーブは、森林資源の有効活用、化石燃料を使用しないことから、二酸化炭素削減効果など、環境に優しい暖房設備として注目されています。

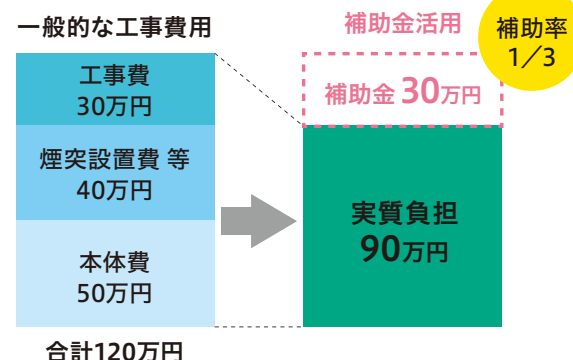
石油ストーブを薪ストーブに替えることで、年間25メートルプール1/3杯分の二酸化炭素が削減でき、灯油136リットル分が削減できます。

地球温暖化を防止しながら、豊かで持続可能な社会をつくっていくため、薪ストーブのある生活を始めてみませんか。
※使用方法を誤ると煙・二オイが発生します。適切に使用してください。

【薪ストーブの設置助成】

- 対象者 町内に居住または、営業目的で所有（予定）する住宅に設置を考えている方
 - 補助金額 設置費用の1/3（上限額30万円）
 - 工事事業者 町内事業者
 - 申請〆切 11月29日
- ※予算がなくなり次第、受付を終了

（活用例）薪ストーブ設置工事



詳しくはこちら
（木質バイオマスストーブ
環境ガイドブック）



補助金の詳細はこちら

※その他にも要件があります。申請を希望される人は、契約までにお問合わせください。
問合せ
住民課 ☎76・2213



みんなでつくる!

笑顔あふれる飯南暮らし



「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

第2回 子どもも大人も一緒に防災を考える「谷たんけん&防災ウォーキング」

谷地区集落支援員の澤田が谷地区の活動をレポート



■自主防災組織の活動

谷地区では、自主防災組織「防災たに」を組織し、防災計画づくり、研修会などを行っています。3月10日には「谷たんけん&防災ウォーキングin塩谷上」を開催。参加者は約30人で、地域の魅力を再発見しつつ、防災意識の向上を図りました。

■歩くことで見えること

グループ毎に案内役からハザードマップに基づく危険箇所や、昔の出来事などについて説明を聞きながら歩きます。実際に現地を確認し、配布された白地図に気づいたことを書き入れながら、歩くことで「実際に体験することで防災の重要性を再認識できた」との声も。

■防災で大切なのは住民同士の支え合い

歩いて終わりではなく、ウォーキング後に昼食を兼ねて非常食の試食、避難経路の確認、防災に関するクイズも。防災意識を高める機会をつくります。普段は車で通る道を一緒に歩いたり、クイズを考えたりして、住民同士の交流を深めます。今後も継続的に開催し、防災意識の向上を目指します。



普段通る道にも危険箇所が

／ここがポイント／

- 子どもも大人も一緒に地域を学ぶ「まちあるき」は地域づくりに大切な活動です。
- 誰もが関心のある「防災」を切り口に住民同士が交流する場をつくりだす。

求 人 情 報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎ 76-2864
(役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

ふくま歯科医院	72-1500
歯科衛生士 59歳以下、歯科衛生士	フル 1人

(株)あゆみ	72-9374
世話人(あゆみの里) 普通自動車免許	パート 1人

(福)飯南町社会福祉協議会	76-2170
介護職(随時募集) 特になし	フル・パート 各3人
保育士(随時募集) 保育士	フル 3人
保育補助(随時募集) 特になし	パート 3人
看護職(随時募集) 看護師または准看護師	フル 2人
調理職(随時募集) 特になし	フル 1人

(株)ボウストフル・ファーマー ミセス・ロビンフッド	76-9277
ホール係、調理補助 特になし	パート 1人

(株)とんぼら総合開発	72-1800
運転手(路線バス、スクールバス、タクシー等) 中型自動車第二種免、普通自動車免許(AT限定不可)	フル 1人

飯石森林組合	62-1520
技術職員(林産・作業路・森林整備) 40歳以下、普通自動車免許(AT限定不可)	フル 2~3人

島根森林管理署 木次森林事務所	42-0357
森林パトロール、境界管理、林道除草、林道整備 刈払機、チェーンソーの使用可能な方、12月までの勤務	パート 1~3人

島根県農業協同組合 雲南地区本部	42-9000
J A支店業務 特になし	フル 3人

オージェイケイ(株)島根工場	76-3711
プラスチック製造オペレーター 59歳以下	フル 3人

地域おこし協力隊(大しめなわ創作館)	76-2214
伝統文化の継承、創作しめ縄を通じた 「しめ縄」産業の拡大など (担当:産業振興課) 20代~40代で、3大都市圏と都市地域等から 飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人

地域おこし協力隊(飯南町観光協会)	76-2214
(一社)飯南町観光協会での事業の 運営・展開・企画立案など (担当:産業振興課) 20代~30代で、3大都市圏と都市地域等から 飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人

地域おこし協力隊員(飯南高校)	76-2864
飯南高校魅力化コーディネーターとして、 特色ある教育の推進、生募集活動など (担当:まちづくり推進課) 20歳以上で、3大都市圏と都市地域等から 飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人

海上保安官募集

令和7年4月入校の海上保安官
(国家公務員)養成の学生採用試験
を行います。

●試験地 鳥取県米子市・広島県
広島市ほか

●受験料なし、在学中給与支給

【海上保安学校学生採用試験】

●受付期間 7月16日(火)~7月
25日(木)

●一次試験 9月22日(日)

【海上保安大学校学生採用試験】

●受付期間 8月22日(木)~9月
4日(水)

●一次試験 10月26日(土)・27日
(日)の2日間

※詳細は人事院か海上保安庁ホ
ムページを確認してください

問合せ

浜田海上保安部管理課
☎ 0855・27・0770

営農と暮らしに役立つ
農業専門紙「全国農業新聞」

●毎週金曜日発行

●購読料 月700円(税・送料込)

問合せ

農業委員会事務局 ☎ 76・2214

令和6年度宝くじ
桜寄贈事業の公募

本事業は(公財)日本さくらの会
が、宝くじの社会貢献広報事業に
よる助成を受けて行っている「さ
くらの若木の寄贈事業」です。

●寄贈要件

- ① 手入れ保全体制が整備され、宝くじ桜を植栽、育成、手入れ、保存し自然環境、生活環境の保全を目的とする公益活動団体等であること
- ② 植栽地は、さくらを植栽し自然景観をより向上させ、将来さくら名所になり得る所
- ③ 寄贈物件の「事業表示石碑」の設置、「品種表示板」の取付

●寄贈物件

- ① 桜若木1カ所あたり50本以上
- ② 事業表示石碑
- ③ 品種表示板

●申込方法 事業実施団体が直接

日本さくらの会へ申請書を提出

●申込期限 令和6年7月31日

(必着) ※詳細はホームページをご覧ください



(公財)日本さくらの会
ホームページ

問合せ
(公財)日本さくらの会
☎ 03・3593・2222

農薬の飛散防止・
安全使用

学校・病院・公園などの公共施設、住宅地に隣接する農地で農薬を散布する場合は、次のことに注意してください。

●農薬散布前に周辺住民に知らせる

- 風向きなどに配慮し、周囲に薬剤が飛び散らないようにする
- 使用する農薬の容器などに記載された使用方法・使用上の注意事項を守る

農薬の飛散を原因とする健康被害が周辺住民に生じないように心がけてください。

問合せ

産業振興課
☎ 76・2214



放送大学10月生募集

放送大学では、令和6年10月入学の学生を募集しています。授業には3つのスタイルがあり、BS放送やインターネットで視聴、講師から直接受ける授業があります。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、幅広い分野を学ぶことができます。

10代から90代の幅広い世代、約8万5千人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で学んでいます。

【出願期間】

●第1回 6月10日(月)~8月31日(土)

●第2回 6月10日(月)~9月10日(火)

※資料請求は、放送大学島根学習センターにお問い合わせください。

【入学説明会・相談会】

●日時 7月7日(日)13時~
8月25日(日)13時~

●会場 出雲中央図書館

問合せ

放送大学島根学習センター
☎ 0852・28・5500



放送大学
島根学習センター
ホームページ

中国地区労使関係
セミナー in 島根

職場で男女とも育児・介護休業が取得しやすく、子育てや介護に対応した柔軟な働き方ができる環境を整える必要があります。

本セミナーでは、専門が労働法

で、特に北欧諸国の雇用制度や社会保障制度の研究をしている講師が「仕事と家庭の両立の推進に関する講演」を行います。

●内容 基調講演「仕事と家庭の両立の推進に向けて」

●日時 7月11日(木)13時30分~16時

●会場 島根県民会館2階第1・第2多目的ホール

●定員 先着100人(事前申込優先)

問合せ

島根県労働委員会事務局
☎ 0852・22・5450



島根県
ホームページ

新商品を
知事に報告

5月2日に、新たに開発した森林セラピーのお土産「くろもじふわり（名刺香）」と「くろもじくゆりのもり（お香お徳用）」の完成を丸山島根県知事にご報告しました。くろもじの事を知っておられた知事からは「爽やかな香りですね!」とご好評いただき、早速名刺入れに忍ばせていただきました。町内各お土産コーナーや観光協会のネットショップでもお買い求めいただけます!



森林セラピー通信

森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

ノルディックウォークで
森林セラピー

5月13日に、飯南町の東区サロンのセラピーを実施しました。今回は地域

包括支援センターの嘉田理学療法士を講師に招き、ノルディックポールを利用した足腰への負担の少ない歩行を実践しました。ポールがある事で4点での姿勢保持が可能となり、セラピーロードでも快適に散策いただけたようです。



飯南町ふるさとの森を知ろう
(初夏)

5月25日に、ガイドのスキルアップ講座を開催しました。今回も飯南町森の案内人会との合同企画で、植物のスペシャリストと普段のフィールドとして利用しているセラピーガイドで、ざくばらんに知識の共有を行いました。数歩進んでは植物を見つけ、の繰り返しで、なかなか前に進みません(笑)おかげさまでお腹いっぱいになるほど植物の知識が深まりました。



短歌

頓原公民館短歌教室 五月詠草



ガザの子は瞳輝き笑顔よしなぜにこの地に砲弾の雨
君の子は君の帰りを待ちいるか空爆兵士よ眼下には子が
母の味少し輪郭見えてきた山椒一枚たけのこごはん
古希迎え夢振り返り言ってみたい我人生に悔いは無しとか
山の初夏濃い紫の藤の花風に遊ぶよゆるりゆると
ロダン作考える人にさも似たる枯れ木のありて吹雪の中に
日々眺め四季の移ろい知らせたる隣りの柿の木伐られぽっかり
旅支度足したり引いたり手荷物重さ確かむ鼻うたも出て
さだまらぬ気温を肌を感じつつ脱ぎし上衣を拾いあげ着る
車椅子ゆるりと進む初散歩見上ぐる桜夫を包まん
愛犬も大きく伸びして眼を細む楚々たる春の光の中に

安部 徳則
石川 隆
大野 順子
奥田 博昭
景山 牧栄
景山 稔
片岡 千鳥
塩田美代子
千葉トミエ
本間 啓美
鳥田 勝信

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

農林大学校林業科に、
新入生14人が入学しました

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



島根県立農林大学校は、次代の島根県の農林業をリードする農業者と林業技術者の養成を教育目的としており、林業科では実習重視のカリキュラムにより、林業事業体の即戦力となる人材を養成しています。

農林大学校林業科(飯南校)は上米島にある中山間地域研究センター内に併設されており、この3月には11人の学生が卒業し、県内外の林業事業体へ就職しました。

4月11日には、大田市にある農林大学校本校で入学式が行われ、林業科は14人の新入生を迎え入れました。



林業科2年生21人と合わせて総勢35人の学生が、この飯南町で林業に関する知識と技術の習得に励んでいます。

地域行事への参加などを通して、皆さんと接する機会もあると思います。その際は声をおかけください。よろしくお願いします。

問合せ 島根県立農林大学校 林業科 ☎76-2100

今日の人権標語

令和5年度
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

いいところ
見つける心
育てたい

頓原小学校 4年 吉田 希一さん
家族名 育枝さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやか

5月届出分

新生児 福留 咲菜 勇 貴(八神)
山内 叶菜 孝 之(上赤名)

やすら

5月届出分

お名前 春日 悟子 孝 史(川東)
田邊 辰枝 哲 雄(上赤名)
勝部 智也 登 (上米島)
森山 好江 洋 二(花栗)

今日の表紙

「おやこ運動教室」

来島公民館主催の「おやこ運動教室」が開催されました。「看護師として、病院外でも役立ちたい」と地域で活動する飯南病院の影山看護師を講師に、参加者は全身を使って楽しみました。

最後には、みんなで小さくちぎった新聞紙の山に飛び込み、舞い上がった紙吹雪に大盛り上がりでした。



2024
7

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 ★ 文化・体育 ◆ その他

1 月	◆ 町県民税納期限 ◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限
2 火	
3 水	📖 来島小学習公開日 📖 中学校職場体験く～5日> + ほっと.Café(来島保健センター)
4 木	
5 金	📖 飯南高PTA環境整備活動
6 土	◆ 半夏まつり ◆ 安田勲さんと行く鬼の下震いウォーキング
7 日	◆ 島根県消防操法大会(島根県消防学校)
8 月	
9 火	
10 水	+ ほっと.Café(来島保健センター) ◆ 行政相談(保健福祉センター)
11 木	
12 金	
13 土	📖 赤来中親子環境整備作業
14 日	
15 月 海の日	
16 火	
17 水	+ ほっと.Café(来島保健センター)
18 木	+ 1歳6ヵ月児・3歳児健診(保健福祉センター)
19 金	📖 小中学校終業式 📖 島根県中学校総合体育大会(陸上:浜山陸上競技場)く～21日>
20 土	◆ とんぼらふる里夏祭り
21 日	📖 島根県中学校総合体育大会(卓球:安来市民体育館、)く～22日> ◆ ストーリーテリング(中央図書館) ◆ しまね家庭の日
22 月	
23 火	📖 島根県中学校総合体育大会 (バレー:浜山体育館)く～25日>
24 水	+ ほっと.Café【食講座(離乳食)】(来島保健センター)
25 木	
26 金	◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
27 土	
28 日	
29 月	
30 火	◆ 赤名峠清掃活動
31 水	+ ほっと.Café(来島保健センター) ◆ 固定資産税納期限 ◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限



部活動もあり平日も夜遅くまで、土曜日でも仕事になることも多い星野さん。ストレスを溜めないように職場の同僚とご飯に行ったりしているそう。「最近はゴルフに行っています。リフレッシュする時間です」と話していました(後列右端)

「小学生の時にミニバスケットの地区大会で負けて、県大会に行けなくて。その時に『将来は先生になって県大会に行きたい』と思ったことが教員を目指すきっかけです」と話すのは、中学校教員の星野睦さんです。

「ルーツ
いいなん
35

このまちに住んでいようと、なからうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介していきます。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよこまで。

夢を持って 生きる生徒を育てたい



星野 睦

上來島出身。赤来中、飯南高卒業後、県外の大学に進学し、教員免許を取得。大学卒業後、愛知県で中学校教員となる。現在、愛知県碧南市の中学校で数学を教えながら、進路指導主事を務める

始めた星野さん。それでも中高生の時は、中学校の教員になりたいとは考えず、漠然と教員になればとしか考えていなかったと言います。「真剣に中学校の教員を目指すことにしたのは、大学生になってからです」と話します。

大学に入学し、さまざまな講義を受けたり、教育実習に行ったりする中で、「いろいろな科目ではなく、昔から得意だった数学を教えたい」と中学校教員になることを決意した星野さん。大学生活を送った愛知県で教員採用試験を受験し、合格しました。

念願の中学校教員になり、教員として

て20年目を迎えた星野さん。これまでの教員生活でさまざまな経験を積んできました。「20年も続けていると、大変なこともありましたが、今後もあると思います」と話します。それでも教員を続けているのには、理由があるそう。

「授業や部活で生徒と接することが楽しいし、卒業した生徒が成長した姿を見せてくれるとうれしいです」と続けます。

「先行きが不透明な時代だからこそ、『夢を持って生きる生徒』を育てることが目標です」と星野さん。これからも目標に向けて、生徒に向き合い続けます。

【いいしクリーンセンター】☎72-9217

令和6年7月のごみ収集日は2月の自治区文書で配布した「令和6年度ごみの収集カレンダー」をご確認ください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。



雲南市・飯南町事務組合ホームページ

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	6日(土) 9日(火)
赤名	19日(金) 22日(月)
来島	12日(金) 16日(火)

[クリーン(株)] ☎72-1401(頓原地域)
[クリーン(株)] ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。



スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



飯南町公式SNS

マチイロ

町の人口 4,398人(前月比+8人) 世帯数1,993戸 R6.6.1 現在